

# ODA

発行 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会  
 編集 沖縄県障害者社会参加推進センター  
 〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038 番地 1  
 TEL(098)851-3455 FAX(098)851-3855  
 ホームページアドレス <https://www.okisin.jp>  
 Eメールアドレス [okisinky@blue.ocn.ne.jp](mailto:okisinky@blue.ocn.ne.jp)  
 頒価一部 100円（会費に含まれています）

## 沖縄県障害者社会参加推進センターだより 第63号

### 美ら島おきなわ文化祭2022

沖縄が本土復帰50周年となる今年、「美ら島おきなわ文化祭2022」（第37回国民文化祭第22回全国障害者芸術・文化祭）が、10月22日～11月27日の期間で開催されました。

開会式は天皇皇后両陛下がご臨席される中、沖縄の伝統芸能が披露されたり、県出身アーティストと高校生が合唱したりと、老若男女問わず、文化に親しみ、継承・発展させていこうという想いが表現されていたように感じます。

全国アート作品展では県内外の障害者が手がけた絵画や写真、書道、立体作品が一堂に会しました。まちなかアート展ではゆいレール駅や各地の港、商業施設などにも作品ポスターが展示され、偶然見かけた人にも知ってもらえる展示でした。どちらの展示も作品からはそれぞれの個性があふれ、多くの人々の心に力を与えたと思います。また「私も作品を通して表現したい」と刺激になった方もいるのではないのでしょうか。



また造形ワークショップ（大型・小型）は創作する喜びに触れる機会となりました。日頃、創作活動を行う人のみならず、「やってみたい」の気持ちを後押しする企画となっていました。



全国的イベントが沖縄で開催されたことは有意義なことです。だからこそもっと早くもっと多くの方に情報が行き届いてほしかったと思います。

### 沖縄県手をつなぐ育成会

第29回沖縄県ゆうあいスポーツ大会 開催報告

コロナ禍の中で2年間中止を余儀なくされていましたが『第29回沖縄県ゆうあいスポーツ大会』が、10月29日（土）に沖縄県総合運動公園補助競技場にて開催されました。



例年約2000名が参加する、知的障がい者単独のスポーツ大会としては、全国でも数少ない同大会ですが、大変残念ですが今年度はコロナ感染症予防を考慮し、参加希望者のみ9団体・約160名の選手に縮小し開催となりました。

秋晴れの中、沖縄県子ども生活福祉部の宮平道子部長のご挨拶、伊波貴洋さんの選手宣誓のあと、無事に競技が開催されました。

今年度は、トラック競技・立ち幅跳びの競技を行い、また食事時間を挟まぬ短時間での大会となりましたが、参加選手のみならず競技役員や施設・事業所支援員、ボランティアの専門学校の皆さんなど、この瞬間を待ちわびていたかのように、すべての顔が笑顔に満ち溢れており、障がいのある人たちのスポーツを通じた社会参加の必要性を感じるばかりでした。

本大会を通して、選手の皆様にスポーツ競技の技術の追求や、仲間との親睦に加え、スポーツの楽しさや喜びを十分に体験して頂くと共に、障がいのある人達が地域で豊かに暮らし、より多くの社会参加の機会を多くの方々に理解して頂き、障がいの有無に関わらず、互いに尊重し、支え合える共生社会の実現に繋がる事を望んでやみません。

3年ぶりとなった本大会にご支援・ご協力いただいた関係機関の皆様方への感謝と共に、次年度からの通常開催を切に願うばかりです。

### 沖縄県精神保健福祉会連合会

沖福連・家族大会 2022 のご報告

令和4年10月21日(金)、沖福連の精神保健福祉研修会『家族大会2022』が、西原町さわふじ未来ホールにて開催されました。

およそ3年ぶりの会場開催となる今回の大会は、YouTubeライブによるオンライン配信も同時に行ない、沖福連として初めての本格的なハイブリッド型イベントの試みともなりました。

講演会講師として招いた精神科医の樺沢紫苑氏は、著作40冊を数えるベストセラー作家であるとともに、YouTubeやSNSでの情報発信も盛んに行なっているインフルエンサーでもあります(動画の総再生回数は、1億9千万回超!)



講演会では心身の健康について、日々の生活に簡単に取り入れられるアイデアやヒントをたっぷりお話しいただきました。

またイベントの後半では、県内家族会からのビデオメッセージを上映。映像を通して、障がい者家族会の“いま”を共有しています。



元気にやってます!



こっち来たら



この会だけじゃなくておうちに帰っても



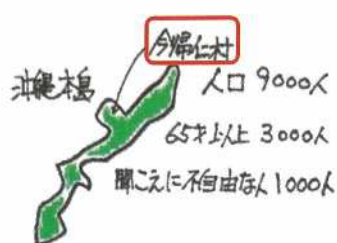
はい、以上です

### なきじん村耳マーク普及会

団体の紹介と活動



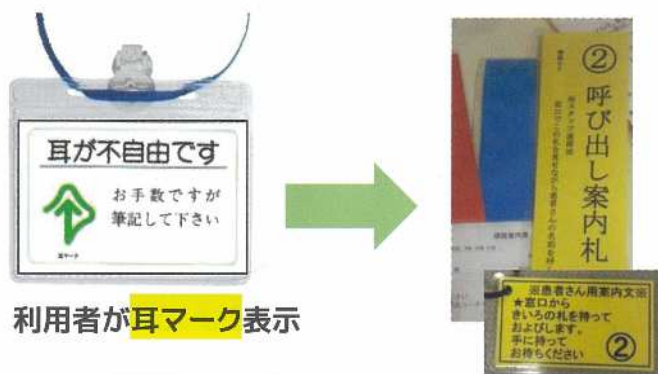
2020年に【なきじん村耳マーク普及会】を立ち上げ、社協の助成金を活用して、公共施設等での耳マークを使った聞こえの環境整備活動・合理的配慮の推進を行っています。



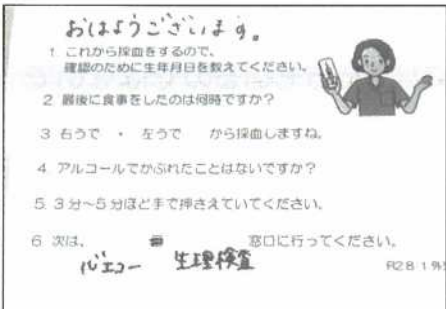
聞こえに不自由とは...



沖縄県北部地区の方が多く利用する北部地区医師会病院にて、受診時の聞こえの配慮を要望しました。その結果、耳マークの提示で筆談や検査手順シート利用できるようになりました。



① 利用者が耳マーク表示



② 病院受付の呼出

③ 手順シートの提示(例: 血液検査)

村民の約11%が聞こえにくさを感じている現状がある中【なきじん村耳マーク普及会】は、①耳マークの利用周知、②接遇スキルアップ、③社会生活等スキルアップを目標に活動を進めています。

お問い合わせ

〒905-0426 沖縄県今帰仁村字諸志 1944  
TEL:070-5275-8003 (代表:酒井ひろ子)

### 沖縄市障がい者福祉協会

～ 映画のミカタ ～

去る10月29日(土)午後2時から沖縄市社会福祉センターにて『“紫 MURASAKI”～伝説のロック・スピリッツ～』を音声ガイド・日本語字幕付きで上映会をしました。



参加して頂いた方は、聴覚障がい、視覚障がいの方々を含め40名を超える参加者がいらっしやいました。参加者からは、どんな形で映画を見ることが出来るのか。大変わくわくした気持ちでお話をされた方もいらっしやいました。聴覚障がい者からは「映画を見に行っても、字幕もなくただ画面を見るだけ、今回楽しみにしている」などの声もありました。

上映が始まり身振り手振りなどで、ろう者どうし合図を行いながら見ている方もいらっしやいました。82分の上映が終わり、昔のコザを懐かしがる方や、「今まで映画館に行けなかった方から大変楽しく映画を見ることが出来た」「健常者と障がい者が同じ場所で、同時に見ることができ、楽しむことができた」「今後もこのような取り組みをどんどん行なって頂きたい」などの声や感想をいただきました。

今回、沖縄県にて制作された映画の放映ご協力を頂きました株式会社918・高山製作所さんに大変感謝申し上げます。今後、沖縄県内で作成された映画を配給会社の協力を得て、音声ガイド・日本語字幕を付け編集をし、南部・中部・北部・宮古島・石垣島の5か所で上映できるよう、多方面の方から意見を聞き・調整して実現に向け活動していきたいと考えております。それには皆さま方のご協力が不可欠ですので、ご支援ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。



### 沖縄県視覚障害者福祉協会

アクセサリ講習会

令和4年11月22日(火)安慶名萌子先生をお招きして「アクセサリ講習会」を沖縄視覚障害者福祉センターで開催しました。

水晶やアメジストなどのパワーストーンを使い、オリジナルブレスレットを作りました。石の種類によって意味があるそうで、水晶は気持ちをクリアにして、リセットさせる効果があるようです。

石の説明を受けながら製作し、それぞれの個性があふれる素敵な作品が出来ました。

アクセサリ講習会は大好評で12月にも開講予定です。ご参加くださいました皆様ありがとうございました。



### 障害者110番

～障がい者の人権を守り、生活を支援します～

◆相談日:月曜日～金曜日 9:00～17:00

【相談内容】

人権問題・生活支援・医療福祉・その他障がい者自身または家族、友人や知人で悩んでいる方、困っている方などの相談。あなたの近所の方で悩んでいる、困っている方などの情報をお気軽にご相談ください。



【問い合わせ先・連絡先】

◆電話(FAX 兼用): 098-851-3910

◆メールアドレス: jimukyok14@okisin.jp

〒901-0516 沖縄県島尻郡八重瀬町字仲座 1038-1 (沖縄県障害者社会参加推進センター 相談室)

# おきしんきょう通信

— 沖縄県身体障害者福祉協会 —

## 経営理念

一、利用者本位 一、社会貢献 一、責任と実行

### 令和4年度 沖縄県身体障害者ボッチャ教室

今年度は、10月21日に北部地区の本部町民体育館を皮切りに、11月に中部地区をうるま市石川体育館、そして12月に豊見城市民体育館にて南部地区の教室を行ないました。

今回は、初めて全会場とも平日開催で行いました。土日開催では、参加出来なかった事業所にも参加頂くことができ、参加者の皆さんで良い交流が出来たかなと思います。



- ・北部地区 優勝：大宜味村身協
- ・中部地区 優勝：うるま市身協 B
- ・南部地区 優勝：ODS-A(沖縄 DEAF シーサー)

### 令和4年度 沖縄県障害者スポーツサポーター養成講習会

地域の障害者スポーツの振興、活動促進に寄与することができる人材養成を目的に、9月～11月にかけて標記講習会を名護市、南城市、うるま市にて開催しました。座学・実技を交えた講習会を実施し、新たに44名がサポーターとして登録しています。今後も、スポーツをはじめとする様々なイベントと連携ができればと構想していますので、お手伝いが必要なイベント等があれば、当協会までお気軽にご連絡ください。



### 第58回 沖縄県身体障害者スポーツ大会

新型コロナウイルス感染症による、我慢の時期が続いていましたが、感染症対策へのご理解とご協力を頂きながら3年振りに開催しました。

各競技の会場で選手や関係者の皆様が「久しぶり～」など声を掛け合ったり、激励したりなど、この大会ならではのスポーツを通じた交流・親睦の場となっていました。今大会の開催は選手はじめ各団体や競技団体、ボランティアなど多くの皆様のおかげです。ありがとうございます。

#### 団体対抗競技結果(福祉地区部門)

優勝：うるま市 準優勝：沖縄市 3位：浦添市



#### 各競技会の実施状況【開催済み】

- ・8月7日(日)アーチェリー競技 沖縄県立鏡が丘特別支援学校
- ・8月20日(土)水泳競技 奥武山公園水泳プール
- ・10月8日(土)陸上競技/本大会 沖縄県総合運動公園陸上競技場・補助競技場
- ・10月29日(土)卓球競技(サウトテーブルテニス) サン・アビリティーズうらそえ
- ・12月17日(土)卓球競技(一般卓球) 豊見城市民体育館サブアリーナ

#### 【今後の開催予定】

- ・令和5年1月15日(日)フライングディスク競技 沖縄県総合運動公園レクドーム

### 第55回沖縄県身体障害者福祉大会

令和4年11月19日(土)、与那原町上の森かなちホールを会場に標記大会を開催しました。3年ぶりに観客を入れて行なう形の開催で、大会スローガン『障がい者の人格を尊重し 誰もが安心して暮らせる共生社会を』のもと、県内各地より約200名が参集しました。

第1部表彰式典は、与那原町障がい者協会らのアトラクション『与那原小綱曳』にはじまり、下記の方々への表彰状の授与、大会宣言(案)および大会決議(案)の採択が行なわれました。



第2部は、琉球古典舞踊 渡嘉敷本流 守藝の會の皆さんと与那原町商工会女性部の方々による『繁昌節』『兄弟小節』の舞踊に始まりました。

その後、『パラスポーツが変えたもの』をテーマに、パラトリアスロン日本代表の秦由加子氏と車椅子ラグビー元日本代表の仲里進氏、ファシリテーターにリアルドラミちゃんを迎えてトークセッションを行ないました。パラスポーツをはじめたきっかけや、お二人が感じた世界と日本の障害者に関する比較など、貴重なお話を伺うことができました。



福祉事業功労者/8名 富里朝信・玉元武一・豊平朝清・松田繁子・外間りさ・佐久川洋一・照屋秀安・喜屋武保

特別永年勤続功労者/12名 新垣如美

・新里百子・山城正和・知念賢紀・安里京子・宮良望・比嘉学・比嘉和也・仲田一郎・末吉基起・仲田奈津紀・大城勝美

永年勤続功労者/19名 糸数理香・加茂幸乃

・大城みゆき・又吉裕貴・高森美奈・金城孝子・伊佐由香里・安里清竹・島袋恵・金城さつき・粟国理恵・知花操・金城正江・松本匡

・屋比久君子・上村幸子・國智恵美・島袋香・名嘉洋子

大会長特別感謝表彰/1名 垣花弘光

### 第15回 九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会

令和4年11月11日(金)、鹿児島ふれあいスポーツランドクレイ広場にて『第15回九州身体障害者グラウンド・ゴルフ大会(鹿児島大会)』が開催され、九州各県より27チーム/139名、沖縄県からは6月の予選会で優勝した、うるま市身体障がい者協会チームが沖縄県代表として参加しました。九州の壁は厚く、結果は27位という成績でしたが、個人表彰のブービー賞に沖縄県選手の名前が呼ばれたときは、表彰式のなかで一番盛り上がっていたと感じました。令和5年度は『宮崎県』での開催となっています。



### 第29回 九州ブロック身体障害者相談員研修会

令和4年11月18日(金)に鹿児島サンロイヤルホテルで標記研修会が開催され、沖縄県から6名が参加しました。

講演では日身連会長の阿部一彦氏が「障害者施策の動向と障害者相談員活動の役割」について話され、障害者相談員(ピアサポーター)の在り方を再確認しました。

シンポジウム「災害時の障害者の安全と身体障害者相談員の役割」では、災害に遭われた障害者相談員の取り組みや気づきを学ぶ機会となりました。また、九州身体障害者団体連絡協議会会長表彰が執り行なわれ、県内からは下記の方々を受賞されました。

【特別表彰】石川 健(八重瀬町社協)

【組織活動功労表彰】仲田 美和子(北中城村身協)

一緒に参加したメンバーとも親睦を深め、実りの多い研修でした。



### 社会福祉法人 沖縄県身体障害者福祉協会 法人創立50周年チャリティ企画(ご報告)

#### 【チャリティモルック大会】

令和4年7月～10月にかけて、下表のとおりチャリティモルック大会を開催しました。

日にち	会場	参加
7/23(土)	豊崎海浜公園ゆめさき広場	8チーム
8/21(日)	糸満平和祈念公園	13チーム
10/1(土)	金武町総合保健福祉センター	28チーム

木の棒を投げてピンを倒す、フィンランド発のスポーツ『モルック』。初めて挑戦する方も多かったのですが、競技性の取っつきやすさから1回戦、2回戦、決勝…と試合を重ねるごとに、皆さんどんどん上手になっていきました。障害者以外にも社協職員チームや、一般のモルック経験者チームなどの参加がありました。



みんなが同じルールのもと競技できるモルック。勝ったチームはもちろんのこと、負けたチームからも「今度は勝ちたい。また大会をやって!」と大会を切望する声がありました。

次年度以降、なんらかの形でまたモルック大会が開催できるようにしたいです。



#### 【チャリティゴルフ】

令和4年9月30日(金)、南山カントリークラブを会場にチャリティゴルフを開催しました。当日は好天に恵まれ157名の参加がありました。

皆さまナイスショットでございました!



## わったーしんかぬちゃー

### ★地域身障協や関係団体のご紹介★

今回は、左記事のチャリティモルック大会(金武町)で見事優勝を収めた中城村の紹介です! 中城村では令和5年2月に県身体障害者福祉展が、62年間の歴史の中で初開催の予定です★

### 【中城村身体障害者福祉協会】

(与那覇 晴枝 会長)

【会員数】20名

【活動紹介】

- ・ピクニック
- ・ボウリング大会
- ・6市町村身障協交流会
- ・各種スポーツ大会等への参加など。



みごと優勝したモルック(→)は初挑戦でした★

【一言コメント】

・会員の健康増進と交流、社会参加を目的に様々な活動を行っています。ピクニックやスポーツイベント等をとおして親睦を深めており、今後も会員の皆さんが楽しんで過ごせるよう活動します!



【問合せ】

住所: 中城村字安里187番地1(村社協内)  
TEL: 098-895-4081  
FAX: 098-895-4180  
MAIL: vol-center@smile.ocn.ne.jp



※その他の市町村身体障害者協会へ連絡を取りたい! と思う方は、沖縄県身体障害者福祉協会へお気軽にお問い合わせください!お待ちしております!

TEL: 098-851-3455 FAX: 098-851-3855  
MAIL: okisinky@blue.ocn.ne.jp